

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年4月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690800075
法人名	医療法人 吉祥会
事業所名	グループホーム 奏庵
所在地	鹿児島県出水市平和町236番地 (電話) 0996-62-8186
自己評価作成日	平成28年2月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年3月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療法人のグループホームであり、病院・老人保健施設と同敷地内にあり、緊急時の対応、医療面で安心感を得ている。職員の教育体制も整っており毎月の施設内研修、施設向上委員会・リスクマネジメント委員会など様々な委員会を合同で立ち上げ、毎月の会議で事例の検討や予防策、集計などを話し合い全スタッフが実践できるように周知徹底を行っている。開設5年目に入り、介護福祉士の資格取得を70%近くの職員が取得しており、引き続き資格取得に向け全体で取り組んでいる。研修・勉強会を通して、リーダーとなるべく職員の養成やケアの質の向上を図っている。また職員一人一人を管理者が面接を行い年間の目標・評価を明確にして意識を高めている。職員はチームケアへの理解も深まっており、それぞれが意見を出し合い業務を実践できている。ホームでの生活を楽しんで頂けるよう、季節毎の行事を大切にして、昔ながらのお赤飯や巻き寿司など喜びの声も頂いており、ご家族からも感謝の言葉を頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は医療法人グループの一つで、2ユニットで構成されている。同じ敷地内に、同法人の医療機関や老人保健施設が併設されている。定期的に医療機関より訪問診療もあり、緊急時の対応などのバックアップ体制が整っている。災害時の相互協力関係も構築されている。
- ・地域行事に積極的に参加し、夏祭りなど法人の行事にも多くの地域の人々の参加があり、ともどもの交流の場となっている。また地域サポーターとしても地域交流を深め、介護情報の発信の場となっている。
- ・利用者個々の能力を活かして、文化祭の作品作りやそば打ちなどをしたり、役割分担を支援している。個々の力量に応じた介護支援で、寝たきりで経管栄養であった利用者が経口摂取できるようになり、車椅子に乗れるようになった事例があり、職員の労を惜しまない支援がある。
- ・部長や管理者は職員とのコミュニケーションを図り、職員育成に力を入れ、資格取得に向けた支援や各種研修への出席を奨励している。職員はケア対応等の更なる向上を目指している。福利厚生が整い職員の定着率が高い。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I . 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は毎日の朝礼で唱和し、毎年理念の実施に向けた目標を全員で考え作成し評価・反省を行っている	法人全体の理念を基に、毎年、全員で話し合って目標を立てている。理念は室内に掲示して朝礼時に唱和し、意識づけしている。会議等で確認し、理念に沿ったケアの実践に繋げている。毎年、理念や目標について達成度を評価している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣のお店での買い物 散歩や地域の行事への参加など積極的に取り組んでいる	地域の夏祭りや文化祭に作品を出展するなど、地域行事に積極的に参加している。法人主催の運動会や夏祭り・敬老会・開設記念日には多くの地域の人々の参加がある。小・中・高校生の職場体験学習やボランティアの受け入れなども行っている。当所でのリーダー実践者研修後、就職希望で職員に採用の例もある。地域の一員としての日常的な交流がなされている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症を抱える家族への相談窓口としての登録 運営推進会議へ参加の依頼などを通じ理解や支援を地域へ発信している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では現在の状況や行事の報告だけではなく、事故やヒヤリハットについて原因・対策など詳細に報告し頂いた意見を参考にしている	会議は定期的に行っている。ホームの現状報告や身体拘束廃止について・ヒヤリハット・外部評価結果報告等、多くの事例報告があり意見交換をしている。出された意見で夜勤時のヒヤリハット対策などを話し合い、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議には毎回市の職員の参加もあり、適切なアドバイス等をもらいながら協力関係を築いている	市担当者とは書類更新時や必要に応じて情報を交換して助言を貰っている。認知症サポーター養成講座の講師として協力している。市主催の研修会にも積極的に参加して日頃から協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	なぜ施錠しないのか、身体拘束による弊害など毎年全職員が施設内研修等で学び身体拘束をしないケアを実践している	身体拘束廃止委員会が中心で、マニュアルを基に合同施設内研修会を開催し、事例や課題を研鑽し、身体拘束をしないケアを実施している。精神的な言葉の拘束にも配慮している。日中の玄関は施錠をせずに職員の連携プレーで見守りを行い、安全な暮らしを支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	リスクマネジメント委員会・身体拘束廃止委員会など併設する老健とともに員会を立ち上げ学び見えない虐待なども絶対になように努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在成年後見制度を利用している方はいないが、昨年7月に成年後見制度の研修会に参加し少しずつ理解を深めている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は十分に時間を取り納得頂けるように説明し理解を得られるようにしている また、介護保険の改定等の時なども改めて説明し契約を更新している		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様の声や気づきメモなど活用し頂いた声を反映し、職員全員で共有している。また、必要に応じて法人全体で対策や改善法など検討している	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き思いを把握している。家族からは面会時や運営推進会議などで話を聞いている。月1回は便りや近況報告を送付している。出された意見や要望等は、職員で話し合い、運営に反映させている。出された意見で月1回のバイキングやフラワーアレンジメントなどを取り入れたり、家族から、利用者の「白寿の祝い」をホームでさせて欲しいとの申し出があり、お祝いして喜ばれた。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的な職員会議・また毎日時間を見つけてのカンファレンスを開催し、自由に意見を言いあえる雰囲気づくりをしている	部長や管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、申し送りノートや会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。吸痰の研修計画や資格取得・ケアに関する提案等があり、意見は運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎年の昇給・年二回の賞与。資格手当・残業をしない体制づくりと勤務年数に応じた有給休暇など環境や条件を整備している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎年個々の職員の目標と評価など面接を行っている。また、外部研修や内部研修などできるだけ多く参加できる仕組みを作り、職員も資格取得には積極的に励んでいる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会を通じ地域のグループホームとは連携を取っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	担当ケアマネージャーや前施設からの情報を出来るだけ多くもらい出来るだけ早く安心できる関係を築けるように本人の言葉や表情を見ながらゆっくりと対応するように心がけている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安や要望、困りごとなどゆっくりと傾聴し、ホームの考えを押し付けるのではなく、柔軟に対応できるようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事業所の特性を生かし、必要に応じて医師や看護師、理学療法士などの協力も得ながら、まず、必要な援助が適切に行われるようにしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除や洗濯物の仕分け、そば打ち・甘酒づくりなど時には教えを受けながら一緒に行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事への参加・運営推進会議への参加などお願いし一緒に考えケアを行えるように働きかけている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみのお店での買い物や馴染みの場所へのドライブ、文化祭見学等行っている	地域行事に参加したり、馴染みの店での外食や買い物・ドライブに出かけている。友人知人の訪問を奨励し、お茶を出すなどして継続的關係が途切れないよう働きかけている。家族の協力を得て外出や外食・理美容院利用・墓参などの支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	必要に応じて職員が間に入ったり、共通の話題の提供や趣味活動の場面など個々に働きかけている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院に入院された場合は、お見舞いや病院との連携を取りながら、ご本人・家族が退院後も安心できるように努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメント・カンファレンスを十分に行い全スタッフで思いや意向の把握に努めている	日々の関わりの中で、表情や言葉・しぐさなどから思いや意向の把握に努めている。職員も気づきを記録し、日頃の言動や表情から、情報を交換して把握している。困難な場合は、家族からの情報や職員で話し合い、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	その方の人生歴・環境・病歴等詳細な情報収集に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護経過記録・カンファレンス・毎日の観察等で現状の把握を行っている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	それぞれ担当スタッフを決め、計画作成担当者とともにアセスメント・ケアプラン・モニタリングを作成している。又、カンファレンスには本人・家族・主治医等とともに全スタッフも参加するようにしている	本人や家族の意向を確認して主治医の意見も取り入れ、担当者会議で話し合い、介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを実施し、3ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日介護経過記録は記録し、その他個人票や受診記録など全スタッフが話し合い記録している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	無料での病院付添や買い物・外出の付添。散髪援助など個々の希望に添えるように援助を行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	文化祭に毎年作品を出展し、見学の際は無料でお茶とお菓子を振舞っていただくなど地域の資源を活用している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設長が主治医ではあるが、歯科医・眼科医等の受診の際は付添や往診の依頼・情報の提供など行っている	本人や家族の意向により、母体医療機関がかかりつけ医となっている。歯科は訪問診療で対応したり、皮膚科や眼科は家族の協力を得て、同行支援をしている。専門医や他科受診については家族の協力のもとで、情報の提供をしている。緊急時の対応など連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設する病院の看護師と医療連携を結び24時間オンタイムで提携ができている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院への入院時はソーシャルワーカーの協力も得ながら情報の交換や相談など行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合の基本的考え方を伝え同意を得ている。また、主治医も交え重度化した場合の在り方について話し合い文章による同意を得ている。	契約時に重度化や終末期の対応指針を主治医を交えて説明し、同意書を貰っている。状況変化に伴い随時話し合い、家族の意向を確認し、医療機関や同系列の法人事業所と連携して、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎年急変時の基本的対応などの研修に参加し全スタッフのスキルアップに努めている。また、急変時のマニュアルも作成している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の食料品の確保・年2回の避難訓練の実施・連絡網の作成を行っている	年2回消防署指導のもと、昼夜想定避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置を設置し、火災報知器や消火器の定期点検を実施している。避難経路や連絡網などの点検もしている。年1回同法人の老人保健施設と合同で徘徊搜索訓練を行っている。地域の見守りもあり、災害時の食料や水等の備蓄もある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の意向を尊重し尊厳ある生活の確保は理念に掲げており何より大切にしている。	個々の人格を尊重しプライバシーを損なわないようにしている。定期的に勉強会を行い、職員の資質向上に取り組んでいる。入浴やトイレ誘導時の言葉かけに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ゆっくりと先回りしすぎないケアを行い本人の気持ちを読み取りながら自己決定を大切にしたケアを行うように努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員はスケジュールに沿って動くのではなく利用者のペースで動くようにしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着替えを一緒に選んだり、一緒に鏡を見ながらの洗面援助をしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	頂きますの声かけや、配膳・片付けなどその方の能力に合わせ役割分担を行っている	栄養士の助言も得ながら嗜好に配慮した献立や食事形態を工夫している。個々の力量に応じて、食事の挨拶の声かけや準備・下拵え・片付けなどを職員と一緒にしている。お花見や敬老会・お節等の行事食・誕生会・庭でのバイキング・外食など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量の記録・それぞれに応じた食事の形態や水分のトロミなど工夫している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	それぞれの能力に合わせ、声かけや一部介助、全面介助を行い、口腔の清潔保持を介助している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間ごとの誘導ではなく個別に表情や様子を見ながら排泄の介助をしている	排泄パターンを把握し、表情やしぐさなどから、トイレに行きたい動作を把握し、さりげなくトイレでの排泄を支援している。水分調節や食生活を工夫し、自然排便と排泄の自立に取り組んでいる。リハビリパンツや布パンツの使用について個々に支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便管理を行い必要に応じて下剤を使用している。また、十分な水分摂取と繊維質の多い献立の工夫も行っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	お風呂は基本毎日準備し、その方の意思で入っていただいている。入浴嫌いの方には担当職員を変えたり時間をずらす等工夫を行っている	利用者の希望によって、いつでも入浴できるように柔軟に対応している。入浴を拒む利用者にも声かけや時間調整など、職員間で連携し、状況改善に努め、入浴を楽しめるように個々に応じた入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	採光の調整や部屋の温度など休息や安眠ができるように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬のファイルに全職員が目を通すようにしている。又、配薬の間違いが無いように二重にチェックしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌や踊りを披露できる場面づくり・手芸や塗り絵の腕前の披露などその方の得意なものを披露できる場面づくりを行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩やドライブ・地域の行事ごとへの参加など時には家族の協力も得ながら外出支援している	日常的には希望にそって散歩や買物に出かけている。計画を立てて、つつじや紫陽花を見に行ったり、鯉のぼり・田園風景などで季節を感じながらドライブを兼ねて戸外に出かけられるよう支援している。家族の協力を得ながら外出や外食などの支援も行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理は難しくなってきたので家族と連絡を取りながら買い物支援を行っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族との電話の際はプライバシーに配慮しながら、さりげなく会話を補助できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームはゆったりと空間を広くとっており、採光や音など配慮している	共用空間は天井が高く開放感がある。採光や換気・温度・湿度に配慮し、手すりが縦・横に設置されている。非常口が広く避難しやすい。台所は対面式で利用者との会話もできIH様式で安全である。季節感を大事にした飾りつけで、ゆったりしたソファがあり、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	今や食堂は十分なスペースがありそれぞれ皆さんゆっくりと思いい思いにくつろいでいる		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	沢山の荷物に囲まれている方、家族の写真のある方などそれぞれが居心地良く過ごされている	居室はベッドやクローゼット・エアコン・洗面台が備え付けである。寝具やテレビ・ダンス・家族写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、小物も飾ってある。安心して過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車いすでも通れる十分な広さの廊下やトイレ。手すりの完備、バリアフリーの玄関等安全かつ快適に過ごせるようになっている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない